

水素エネルギー社会の展望

わが国では、2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに水素インフラを整備して、水素エネルギー社会を世界に発信していく方針を決めています。水素エネルギーは、化石燃料だけでなく再生可能エネルギーからも製造可能で、再生可能エネルギーの利用拡大とエネルギーセキュリティ（安定供給）の向上を期待されています。北見工業大学ではこれまでに再生可能エネルギーの多様な利用技術について調査・研究をしてきました。本講座では、水素エネルギーの基本から再生可能エネルギーを用いた水素生成技術の展望について、できるだけわかりやすく解説するものです。

第 1 部

平成 30 年 3 月 29 日 (木) 18:00 ~ 19:30

自然エネルギーを用いた水素製造技術

講師：地球環境工学科 エネルギー総合工学コース 准教授 高橋 理音

水素は、将来のエネルギー源として非常に有用な元素であり、水の電気分解という形で「製造可能」なエネルギーです。貴重な化石燃料に依存することのない風力・太陽光などの自然エネルギーを利用した水素製造の有用性と、実現に向けた技術開発の最前線を紹介します。

第 2 部

平成 30 年 3 月 30 日 (金) 18:00 ~ 19:30

積雪寒冷地で考える水素エネルギーの利用方法

講師：地球環境工学科 エネルギー総合工学コース 教授 小原 伸哉

水素エネルギーは、九州から関東の範囲に集中して導入されています。しかしながら、自然エネルギーが豊富な北海道でもいくつかの個性的なプロジェクトが進んでいます。これから水素エネルギーはどのような形で我々の身の回りに導入されるのか、最近の研究情勢をお話しします。

【会 場】 北見工業大学 第 1 総合研究棟 2 階 多目的講義室

【受講料】 無 料

【申込期限】 各講座の開講当日まで（当日飛び入り可能）

【申込・問合せ先】

北見工業大学 研究協力課地域連携担当

TEL: 0157-26-9158 / FAX: 0157-26-9155

E-mail : kenkyu09@desk.kitami-it.ac.jp

※電話対応時間：平日9時～17時まで

